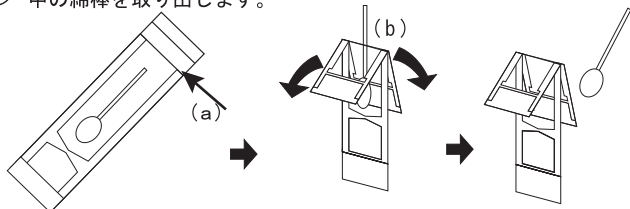


《使用用途》綿棒で拭き取るだけでたんぱくのチェックが出来ます

- ① 矢印(a)の所を真ん中図の(b)のように開いて開封し、中の綿棒を取り出します。

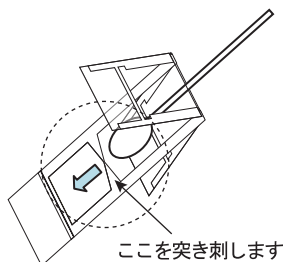


- ② 綿棒で検査場所をよくふき取ります。
※綿球の片面でふき取って下さい。

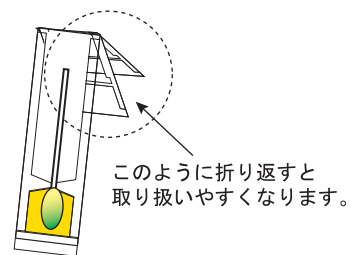
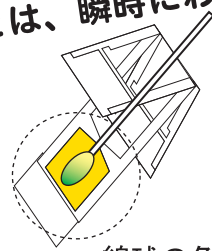


※検査場所が乾いた箇所の場合、
アルコールを噴霧するとふき取り易くなります

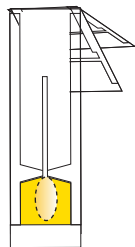
- ③ ふき取った綿棒で仕切を突き破り、
綿球部を反応液に浸します。



- ④ **あとは、瞬時にわかる結果を見るだけ!**



《検査結果確認》 結果は反応液、または綿棒の色で判別します

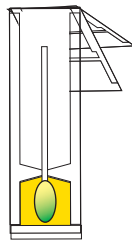


《反応液色のまま》

たんぱく 陰性(-)

清潔

綿棒(綿球)と反応液の色に変化はありません。
残留たんぱくに関しては清潔な環境といえます。



《緑~青緑色》

たんぱく 陽性(+)

不衛生

綿棒(綿球)と反応液が緑~青緑色(残留たんぱく)に
関しては不衛生な環境といえます。

《使用上の注意》

- ・検査場所をふき取る際は、最初にふき取った面でのみしっかりふき取ってください。
綿球全体でふき取ると反応が弱くなる可能性があります。
- ・綿棒で仕切を突き刺す際、仕切に対して真っ直ぐ(垂直)に綿棒を突き刺してください。その際、反応液部分には触らない、もしくは軽く手を添える程度で操作を行ってください。
真っ直ぐに綿棒を突き刺さなかった場合や、反応液部分を持って行きますと袋の破れや反応液の液漏れを起こす可能性があります。

